

ご成人おめでとうございます!



館報

おからだ

令和4年1月1日現在
 世帯数 : 3,220 戸
 男 子 : 3,549 人
 女 子 : 3,700 人
 計 数 : 7,249 人

令和4年1月9日、松本市では新型コロナウイルスが心配されてはいましたが、実行委員会の努力により、成人式を実施することが出来ました。

当日朝、岡田公民館に於いて、恒例の地区の記念写真撮影を行いました。27人の新成人が集合写真に納まることが出来、周りもとても華やかで爽やかな雰囲気になりました。

☆新成人！今日の気持ち

(当日アンケート結果)

- 1、あなたの夢はなんですか？
 - ・ 言語聴覚士・美容師・公務員・プログラマー
 - ・ 鍼灸師・電気関係の仕事で世界を目指す
 - ・ 自分だけのロボットを作る・建築士・広告作り
 - ・ 調理師・バンドマン・社長・サラリーマン
 - ・ 定年まで働く・玉の輿・日本一周・世界一周
 - ・ 自分にしか出来ない事を見つけた
 - ・ 趣味を続ける・長生き・楽しむ
- 2、岡田の好きなところはどこですか？
 - ・ 友達がいる・人が良い・水が美味しい・静か
 - ・ 落ち着く・自然が豊か・にぎやか・あたたかい
 - ・ 生活しやすい・景色が良い・星空がきれい
 - ・ のどか
- 3、今1番したい事は？
 - ・ 旅行(海外・ひとり旅等)・温泉
 - ・ 親孝行・結婚・ひとり暮らし・地元巡り
 - ・ バドミントン・筋トレ・スノーボード
 - ・ 友達と楽しむ・ご飯や飲みに行きたい
- 4、三九郎の思い出はありますか？
 - ・ お年玉をもらった・マシマロを焼いた
 - ・ にぎやかだった・地域の人の触れ合い

新成人の生まれた20年前(2001年4月~2002年3月)の主な出来事

4月 小泉内閣誕生 小泉旋風
 6月 大阪教育大附属池田小学校事件
 9月 国内初BSE(牛海綿状脳症)感染
 // ディズニーシー開園

10月 野依良治氏ノーベル化学賞
 12月 皇太子家に愛子様ご誕生
 2月 ソルトレイクシティオリンピック

映画 「千と千尋の神隠し」
 「ハリー・ポッターと賢者の石」
 「陰陽師」

ヒット曲 宇多田ヒカル ; Can You Keep A Secret?
 浜崎あゆみ ; 「M」
 CHEMISTRY ; PIECES OF A DREAM



神澤の公民館からやや南に向かった場所に、繭玉を持っている愛らしい姿をした道祖神があり、銘文は右側面に

「寛政七乙卯歳
十一月
神澤村」



と3行にわたって刻まれてあります。2025年間も神澤の暮らしを見守ってきたのですね。

ネットで調べてみると、どうやらマニアの間では全国区で人気が高いらしい。そんな人気者についてご近所を訪ねてみました。

「道祖神について教えてください」と、間違いなく聞いてみるのですが、皆さん三九郎のお話になつてしまうようです。

(神澤 坂西 敬子)

道祖神は動かして今の場所になったという事ですが、どうやら、昔は三九郎を巡って子供の戦いが有ったように道祖神の奪い合いもあり、盗られてなるものかと、今の場所に足元をコンクリで固めたのだそうです。また、昔は道祖神の前の道がとても狭かったのに、道祖神のすぐ横で三九郎を焚いたので近所の家の屋根に火が付きそうだった事、それでもいっもそこで行つていた事、前の道を広げる際には近所の家々が相当なお金を出した事など、神澤の結束の強さも教わりました。

三九郎の御札は子供が刷つてお神主様にお宮で拜んでいたみたいです。版木の「俺の親父のころ」作られたそう、ざつと

100年前(?)は餅に文字を彫つて刷つていたそうです。

今回は取材先で次の取材先を紹介していただきながら訪ねてみました。神澤には昔からのお家が沢山あり、道祖神と共に歴史を感じました。ご協力ありがとうございました。

三九郎と地域づくり

岡田小学校PTAでは新型コロナウイルスの影響により令和4年のお正月行事「三九郎」の中止を余儀なくされた。

三九郎について岡田歴史研究会の宇佐美映之氏(岡田町)にお話を伺った。

新型コロナウイルス禍以前から、子どもの少ない町会では三九郎存続に危機感があった。

行事の中心を担うのはかつてより小学校の高学年の子どもたち。しかし平成の終わりくらいから子ども数が極端に減ったために、作業の担い手が子どもから大人(PTA、地区の役員等)に移行せざるを得ない状態になっている地区が出てきた。

生活雑記

峠道

伊深 西村裕次郎

私の自宅は北国街道沿いにあります。コロナ禍の影響から休日にはリュックサックを背負い、地図を片手に散策を行っている人たちが最近多く見るようになった気がします。

先日子どもが岡田宿について調べたファイルを不意に目にし、ご番所の由来や陣屋の役割から普段何気に通っている街道の中央に水路を流していることなど改めて岡田の歴史を知ることがありました。

古い記憶を辿ると小学生の低学年頃だったと思うが、岡田より峠道を越えて当時四賀村の昭和公園まで遠足に行ったことを思い出しました。



令和2年 松岡

三九郎は、お正月の飾りや習字を歳神様にお供えする火祭りであると同時に地域の繋がりを作ってきた側面がある。

子どもたちにとって、学校とは違う地域の縦割りの関係をつくる意味合いが大きい行事である。先輩から後輩へ、松飾りやだるま稲わらの集め方や三九郎の組み立て方が伝えられてきた。幸い岡田地区では区有林がある

の機会に日頃の運動不足解消に昭和公園まで散策を計画し、子供たちに声をかけると娘二人と家内が一緒に行こうとなったが、往復の距離と時間を考えると、家内には帰りのお迎えをと

であったがハスが増え景色はだいぶ変わった感じがしました。お地蔵さんや馬頭観音群などの石仏へ手を合わせながら進み、急な坂道(別名仇坂)を上るとやと峠の広場にたどり着き、その昔茶屋が三軒あったらしい広い場所へ昼食をとりました。かつて峠を越える人たちがぎわつていたと思うと感慨深いものがありました。

峠の下りに入ると道はだいぶ広くなり刈谷原宿を通り目的地の昭和公園に無事到着となり、子供も景色がきれいで楽しかったとの事でした。次は馬飼峠へ挑戦したいと思う楽しい秋のひと時でありました。

ので、何年も前からご神木の「松」は準備がされている。このように、地域を挙げて応援していただいている。

この脈々と続く行事が新型コロナウイルスによって2年中断されてしまった。子どもたちの手に受け継がれてきた物心両面は、たった2年の中断でも、以前と同じように復活させるのはなかなか難しいことになるだろうと心配される。

地区の人と人の繋がりが、団結力は今後の地域づくりに係り、災害などの場合の協力体制にも影響が出る事が懸念される。

宇佐美氏のお話は以上のような意味があることに驚きを感じ、心配でもある。

(聞き取り・文 三枝委員)